

オルタンシアの風

2012年2・3月号/VOL17

今年は例年にも増して一段と寒い日が続いていますが、皆様お変わりありませんか？
春の花がとてもキレイな時期になりました！一足早く、お部屋に春の香りをいかがですか？





今月のオススメ！ ～チューリップ～

今月のオススメは**チューリップ**です！春の花の定番ですね！

チューリップという名は、トルコ語でターバンの意味の『ツルバン』から名づけられたと言われています。和名は『鬱金香（うっこんこう）』。花言葉は『博愛』、『思いやり』など、色によっても違ってきます。

チューリップは夏の間球根のもとになる『花芽』ができます。生産する場合、花芽のできた球根を約2ヶ月間5℃程度の温度で冷蔵すると、花を咲かせる準備が整います。その後15℃前後の温室で適度な水と光を与えて栽培すると花を咲かせるそうです。

☆いくつかチューリップを紹介します！

			
バレリーナ 花弁の先端が細長いユリ咲き系。	アンジェリケ 花弁数20枚程の八重咲き系。	ファンシーフリル 花弁の縁に細かい切れ込みの入るフリンジ系。	ブラックパロット 花弁に大きな切れ込みの入るパロット系。

他にも様々な色や形のものがありますので、是非お部屋に飾ってみてください！

何種類か混ぜて花瓶に生けてもカラフルで楽しいです♪

インフォメーション

アトリエオルタンシアンは今年**25周年**を迎えます！

かつてはオランダ、フランス、イギリスなどのデザイナーを参考にする時代がありましたが、ここ数年の思いは、日本人としての感性を生かした、現代に生きる私達の花表現を発信したいということです。

様々な文化を歴史的に遡ってみると、それぞれが影響しあったり、融合しあったりしながら少しずつ変化してきています。文化は変化するものとも言えるでしょう。

日本の伝統文化である着物の文様からインスパイアされて生ける花と、スウェーデンのモダンアートをコラボレートする企画を6月に進めています。スウェーデン大使館のご協力で行う予定です。

日本の雅とスウェーデンのモダンアートは対局に位置するようにも見えますが、両者の根底には、共通してそれぞれの国民の自然を愛でる心や自然と共存する気持ちや生活があると思います。

この自然との共存をキーワードに、私達は草花、木で融合を試みたいと思います。

詳細は別途お知らせいたします！